

“入試ネット不正投稿”問題 文科省、対応策を検討中！

公立大中期(3/8以降)、国公立大後期(3/12以降)、私立大
3月入試に向け、「“携帯”持ち込み禁止」等の措置も視野に検討

旺文社 教育情報センター 23年3月1日

- 京都大、同志社大、早稲田大、立教大の入試問題が試験中にインターネット上に不正投稿された問題で、高木文部科学相は23年2月28日、「試験会場への携帯電話の持ち込み禁止などの対応策を検討する必要がある」などと、文科省としても対応策を検討する考えを示した。
- 文科省の大学入試室では現在、今月実施される公立大中期日程試験(3月8日以降)、国公立大後期日程試験(3月12日以降)、私立大入試について、例えば「試験会場への携帯電話“持ち込み禁止”」を一律に通知するかどうかなども含め、検討しているようだ。
- 携帯電話などを“試験場”まで持参すること自体は、連絡用(地図案内、緊急連絡等)などでやむを得ないとしても、“試験教室”へ入室する前に、携帯電話等の有無をチェックし、携帯電話等をすべて事前に預かることが全ての大学において現段階でできるのかどうか。
大学側の準備等が試験実施までの極めて限られた時間で整うのか。現段階で実効性が十分に期待できないような措置を大学側に一律に求めるのが適当なのか。当面の試験実施については、各大学の対応に任せるべきなのか。大学入試室では現在、様々な視点から対応策を検討しているようだ。
いずれにしろ、今後の対応については決定次第、速やかに各大学へ通知するとともに、受験生への周知徹底も求められる。
- ところで、文科省大学入試室では毎年、次年度の『大学入学者選抜実施要項』を各国公立大学長等宛に通知(例年、5月下旬)している。
この中で、「入学者選抜の公正確保」については、「入試問題の漏洩など入学者選抜の信頼性を損なう事態が生ずることのないよう、……(以下、略)」と、入試の公正な実施体制の充実を求めている。
大学入試室では、今回の問題を検証し、問題点等を明らかにしていく中で、24年度入試に向けて具体的な措置等を『大学入学者選抜実施要項』等で求めていくものとみられる。

- センター試験については現在、受験生用の『受験案内』（例年、9月初めに次年度用を配付）における「試験時間中の注意事項」で、「携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切ってかばん等に入れておいてください。」と明記し、注意喚起している。

また、「不正行為」となった場合は、それ以降の受験はできなくなり、既に受験したセンター試験の全ての教科・科目の成績も無効になると明記している。

さらに、携帯電話等に関し、次のようなことをすると不正行為となることのあるとしている。

- ・試験時間中に携帯電話等を使用して連絡を取ること。
- ・試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に多大な影響を与えること。

24年度センター試験では、こうした携帯電話等に関する「不正行為」防止策に加え、さらに一層厳しい防止策が講じられることも予測される。